



商工会だより 8月号

発行日 令和2年8月7日



開催日時	内容	開催場所
8月 3日(月)～14日(金)	2020プレミアム商品券予約受付	木津川市商工会本所
9月 1日(火)～15日(火)	プレミアム商品券販売 ※但し、本所のみ9月5日(土)、6日(日)も販売します	木津川市商工会本所 山城支所・加茂支所
9月 4日(金) 8:15～11:00	健康診断	山崎内装工業(株)
9月 7日(月)、15日(火) 8:30～11:30	健康診断	加茂保健センター
10月6日(火)、7日(水)、8日(木) 9:00～14:00	健康診断	木津保健センター 木津人権センター
12月22日(火)、23日(水) 9:30～14:30	健康診断	木津川市役所 山城支所別館

地域まつりの中止について

例年10月下旬～11月中旬に開催しております地域まつり（かもまつり、やましろまつり、木の津まつり）ですが、木津川市より自粛要請がまいりました。

その取扱いについて、各実行委員会におきまして慎重にご協議をいただき、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度の地域まつりは、全て中止することが決定されました。

会員の皆様におかれましては、ご理解のほどをお願いいたします。

相楽食品衛生協会からのお知らせ

例年6月に実施しております検便検査ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、実施が遅れております。

9月下旬頃の開催予定ですが、今後の感染拡大の状況により、延期・中止される可能性がございます。

詳細が分かり次第、改めてご案内をさせていただきますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

令和2年度 第8回食育レシピコンテスト開催中止のお知らせについて

例年、木津川市健康推進課が実施されておられる「食育レシピコンテスト」ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の影響により、中止することになりましたのでお知らせいたします。今年度は入賞レシピの商品化のご依頼はございませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症で影響を受けている方へ

木津川市商工会では、「新型コロナウイルス感染症対策経営相談窓口」を設置しております。

相談窓口において、専門家により「持続化給付金」「家賃支援給付金」等各種給付金の相談や、補助金等の相談にも応じています。予約制となっておりますので、事前予約をお願いします。

木津川市から新たに市内に事業所（圃場）を有する中小企業・団体及び個人事業主（農業従事者含む）で、一定の要件を満たす方に、新たに「木津川市事業継続おうえん給付金」（詳細別紙）が設けられました。

また、茶生産者を応援するため「木津川市茶生産者応援給付金」も受付されています。

問い合わせ

木津川市観光商工課 TEL 75-1216

●2ページ目———【会員様のご紹介】～医療的ケア児のためユーザーの声を商品開発に！～

【編集 野田】

木津川市商工会
マスコットキャラクター
たけのこタッキー

発行者

木津川市商工会
木津川市木津南垣外83-3

TEL: 0774-72-3801

FAX: 0774-72-6564

Mail: kizugawa-sci@kyoto-fsci.or.jp

URL: http://kizugawa.kyoto-fsci.or.jp



今回は、木津川市加茂町で女性起業家として頑張られているSKIP&CLAPの奥山氏取材させていただいたのでご紹介いたします。



「医療用携帯バッグ」
特許証

2006年4月、長男がCFC症候群という世界に150人しかいない希少難病を持って生まれた。6歳の時、肺炎より気管切開をし、気管からの吸引が必要となり、常に吸引器を持ち運ぶことが必要となった。そこで、既存のバッグでは使い勝手が悪く、合うバッグを探し求めた。しかし、合うバッグが見つからず、2014年1月に、「ないなら自分で作ろう」と思い立ち、**試行錯誤を開始する**。その後、2017年10月に、**最初のバッグ50個を生産する**。そして、2018年2月に、**SKIP&CLAPのネットショップをオープン**させ、SNSを通じて徐々に広がっていく。その月には、1件目となる注文が入った。

2019年に1月には、**医療的ケア児のママ向けサロン「SKIP CAFE」**をオープン。そして3月に**特許を取得**し、12月にはバッグの**販売累計個数が500個を突破**した。

さらに2020年1月に、**第8回京都女性起業家賞 知事賞最優秀賞受賞**をするなど、今後の活動が期待される。

事業所名：SKIP&CLAP
オーナー：奥山梨衣 氏
住所：木津川市加茂町
Mail: skipclap2014@gmail.com
https://skipclap.shop-pro.jp

医療用吸引器バッグの開発に至った経緯 ～現役医療的ケア児のママが考えた！お出掛けが楽しくなる「吸引器バッグ」！！～



パワースマイルKS-700用
特許第6488442号



近年、医療技術の進歩により、重い病気や障害のある新生児が助かる確率が高まっています。命は助かっても、その後障害が残るケースが多く、日常的に痰を吸引したり、管を通じて胃や腸に栄養を入れたりしながら、在宅生活をする医療的ケア児が増えてきています。

我が家の**長男(13歳)もそんな医療的ケア児の一人**です。気切孔より噴き出す痰を取るための吸引は、一日100回を超えました。それは家の中だけにとどまらず、通院、通学等お出掛けの際にも及びます。外出時には、ポータブル吸引器を持ち運ぶ必要があります。

吸引器本体と、吸引時に使用する精製水を入れた容器や、**吸引に必要な物品は合計5キロほどの重さ**があります。これだけで出かけることが億劫になりました。さらに、これらを持ち運ぶためのキャリアバッグは、**子どもたちの命にもかかわる補助具**であり、携帯容器としての働きだけでなく、痰吸引器の作動のしやすさ、一連の吸引手技のしやすさ等の介助する者の視点に立った特性が要求されますが、従来は単なる容器バッグとしての位置づけでしかなく、私たち**介助者は不便さを感じながら利用しているのが現状**でした。

その使い勝手の悪さと見た目の悪さから、自分で吸引器専用バッグを開発することを考え付きました。元アパレルの経験を活かし、可愛くて使いやすい、細部までこだわり抜いた吸引器バッグが完成しました。

2018年2月よりインターネットで販売を開始すると、SNSで瞬く間に広がり、同じようなママから注文を頂き、すぐに欠品するという人気ぶりでした。出掛けるということを考えてもいなかったママ達から感謝の声が届き、**私の活動自体が、同じような子を育てるママ達の希望になっているのだと感じました。**

現在の状況と今後の展望

【現在の状況】

今年から、救急医療などの蘇生機器を扱っている大手医療メーカーのブルークロス(株)さんからバッグの製作依頼がありました。以前から、医療メーカーはユーザーの声をなかなか商品に反映させることができなかったそうです。現在は、バッグの製造だけではなく営業担当者の方とお話することで、**リアルなユーザーの声を医療機器の開発にも反映**していこうと取り組んでいます。

今年の**8月下旬から9月頃に、4型目となる新作バッグが発売**されます。バッグの生地には**岡山県産の超撥水加工のデニム生地**を使用していて、雨粒を玉のようにはじくことができ、雨の日でも安心してお出掛けすることができます。以前のデニム生地のバッグは、独特なデニムの風合いを活かすため、ラミネート加工はしていませんでした。しかし、ユーザーから撥水加工して欲しいといった声が多くありました。

そんな中、幸運にもデニムの本場岡山で、デニムを使った福祉用品を製造販売されている(株)エナジーフロントさん特殊技術の生地を使わせて頂けることになり、今回の超撥水加工のデニムバッグが誕生しました。見た目の可愛らしさだけでなく、機能性を兼ね備えたユーザーの想いが詰まったバッグになっています。さらに、**4型目は、これからのWITHコロナの時代に対応し、飛沫防止のため吸引器収納部分に巾着タイプの蓋を付けたり、抗菌素材を使ったという特徴**があります。

【今後の展望】

基本的には、小売中心に今後も事業を行っていきたくです。それは、ユーザーであるママを大切にしているからです。日々の介護で大変なママへ、バッグを購入していただいた際には必ず、「**ちょっとでも休んでください**」といった**手書きのメッセージカード**を添えています。この気持ちを込められるサービスは、小売だからこそできることです。そして今年、持続化補助金を活用しHPを強化し、さらなる販路拡大を図っていきます。



「新作バッグ」
デニムの聖地である、岡山のデニム工場で製造した生地を使用